**「性暴力被害者救援センター日赤なごや」準備委員会　主催**

**性暴力被害者支援のための**

**アドボケーター（支援員）養成講座**

性暴力被害にあった女性たちの多くは、恐怖と屈辱と混乱の中で「誰にも言えない、知られたくない、考えたくない」と一人で悩みます。この時、できるだけ早く医療的・心理的な支援を受けることが心身の回復にとって非常に重要ですが、そのためには被害にあった女性に寄り添い、適切にサポートできるアドボケーター（支援員）の存在が必要不可欠になってきます。

　そこで、このたび「性暴力被害者救援センター日赤なごや」準備委員会では、性暴力被害にあった女性とつながり、心と体の回復に向けて、寄り添いサポートする支援員（アドボケーター）を養成する講座を開催することに致しました。ご参加をお待ちしています。

**講師：性暴力救援センター・大阪SACHICOからの出前講座です**

2010年4月、日本で初めて開設した性暴力被害者のためのワンストップ・センターである「*性暴力救援センター・大阪（Sexual Assault Crisis Healing Intervention Center Osaka: 通称　SACHICO）*」におけるアドボケーター養成のスキルと開設５年間の実践経験に基づいて提供される講座です。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 日　程 |  | 講　義　内　容（1講座：120～180分） | 講　師 |
| 2015年  6/28（日） | 1. 午前 | ～性暴力救援センターとは何か～その機能と役割 | 加藤　治子  性暴力救援センター大阪　代表・産婦人科医 |
| 1. 午後 | ～性暴力被害の実態～SACHICOの5年間の活動から見えたもの |
| 7/12（日） | 1. 午前 | アドボケーター（支援員）としてのスタンス  性暴力とは何か～SACHICOの5年間の活動から見えてきたもの | 原田　薫  性暴力救援センター大阪　運営委員・支援員 |
|  | 1. 午後 | アドボケーター（支援員）としてのスタンス　～支援とは何か～ |
| 7/26（日） | 1. 午前 | 性暴力被害者への法的支援について | 雪田　樹理  性暴力救援センター大阪　運営委員・弁護士 |
| 1. 午後 | 性暴力被害者に対する病院での診察とは | 加藤　治子 |
| 8/9（日） | 1. 午前 | 性暴力被害者の心理～トラウマからの回復に必要なことは～ | 久保田　康愛  性暴力救援センター大阪　運営委員・精神科医 |
|  | 1. 午後 | 被害者のこれからと人間関係 | 高見　陽子  性暴力救援センター大阪　運営委員・カウンセラー |
| 8/23（日） | 1. 午前 | ケーススタディ…講義内容をふまえたケーススタディ | 原田　薫 |
| 1. 午後 | ロールプレイ…講義内容をふまえたロールプレイ |
|  | 1. ～ | ケーススタディとロールプレイをとりいれた実習を繰り返す |  |

場所：名古屋第二赤十字病院　管理棟2階　看護研修室

対象：性暴力被害者（レイプ、強制わいせつ、子どもの性虐待、DVとしての性暴力など）の救援と回復への支援に関わりたいと考えている方。

**お問い合わせ・申込み：e-mail:research@lifecarewc.org FAX: 050-3737-1215**

「性暴力被害者救援センター日赤なごや」準備員会主催

**2015年度　性暴力被害者支援のためのアドボケーター（支援員）養成講座**

|  |  |
| --- | --- |
| 養成講座を受講したい動機 | |
| ＊養成講座修了後に、支援員として活動することを  希望していますか？　いずれかに○を付けて下さい。  　　　　　　・希望する　　　　　　　　　　　　　　　　・希望しない  　　　　　　　　　↓  ＊支援員として活動を希望する場合は、その志望動機 | |
| ふりがな： | 電話番号：  ＦＡＸ番号： |
| お 名 前： |
| 年　齢： | メールアドレス： |
| （郵便番号　　　　　　　　　）  住　所： | |
| 現在またはこれまでの仕事、活動の内容 | |
| 現在の所属： | |

**受講申込書**

ご記入いただきました全ての個人情報については厳重に管理し、本講座についてのご連絡等にのみ利用させて

いただきます。